

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ
 国立病院機構福岡病院

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	国立病院機構福岡病院看護部 池田 奈央
2. 研究課題名	吸入療法機器の違いが看護業務に与える影響についての調査
3. 研究の概要	<p>【研究概要】 吸入療法で使用するネブライザー機器は、各社で機器の性能が異なるため、結果として吸入療法に要する時間が異なります。その時間差は最大でも数分程度ですが、吸入療法を行う患者数は入院患者、外来患者ともに多いため、延べ時間にすると業務時間に与える影響は大きいと考えられます。より吸入効率の高いネブライザー機器を用いて吸入することで、吸入の有効性、安全性を担保しながら、吸入時間を短縮することが出来、ひいては看護業務の短縮につながる事が期待されます。そのため、吸入療法で使用しているネブライザー機器の違いが看護業務に与える影響について調査することとしています。</p> <p>【方法】 2025年2月28日までに福岡病院の入院・外来で気管支喘息や急性下気道炎に対して吸入療法を行った0-15歳の小児患者さんにおいて、吸入時間、吸入前後のバイタルサインを測定します。これらは通常の診療で行われる医療行為であり、追加侵襲はありません。それらの測定項目をネブライザー機器毎で比較検討します。</p> <p>(個人情報の利用の目的) 今回の研究で使用する情報は、一般的に提供される医療行為で得られる情報であり、患者さんに追加で負担が発生することはありません。また、測定項目も診療情報のみであり、患者さんの個人情報などプライバシーにかかわる情報が外部に公開されることはありません。</p>
4. 使用する診療情報	診療情報内容: 年齢、性別、病名、吸入前後の脈拍数・SpO2、吸入時間 対象診療期間: 倫理委員会での承認日 ~ 論文発表まで
5. 使用する検体	該当しない
6. 病名	気管支喘息 急性下気道炎(急性気管支炎、急性細気管支炎、急性肺炎)

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)